

# 平成30年度 備前市外部評価報告書

《平成29年度実績評価分》

平成31年3月  
備前市行政評価市民委員会

## 1 行政評価市民委員会

### (1) 委員会設置（運営）の目的

備前市まちづくり基本条例で要請されている外部評価を実施することにより、行政評価（内部評価）の客観性及び透明性を確保するとともに、施策や事業の必要性、成果等について検討や検証を行うことで、市民の視点に立った効率的かつ効果的な行政経営を推進する。

### (2) 役割

次に掲げる事項について審査および検討を行い、これに係る意見または提案を市長に報告する。

- ① 市が実施した施策評価および事務事業評価の結果
- ② 市の行政評価システムの改善

### (3) 構成委員（7人以内）

平成30年8月1日改選

No.	氏名（ふりがな） 敬称略	区分	職業・所属等	備考
1	草加 己良（くさか みよし）	市民公募	無職	
2	原田 正志（はらだ ただし）	市民公募	地区公民館長	
3	船橋 美可（ふなはし みよし）	市民公募	備前市観光協会	
4	谷原 純子（たにはら じゅんこ）	市民公募	無職	
5	近藤 美典（こんどう よしのり）	市民公募	団体職員	
6	世羅 徹（せら とおる）	学識経験	有限責任監査法人トーマツ 公認会計士	委員長
7	佐藤洋一郎（さとう よういちろう）	学識経験	岡山県立大学 教授	

### (4) 委員会活動経過

回	日時	具体的活動内容
第1回委員会	平成30年 8月29日（水） 14:00～16:00	○委員顔合わせ・オリエンテーション ○委員長（座長）選出 ○評価対象「施策」の選定（6施策）
第2回委員会	平成30年10月10日（水） 14:00～16:00	《施策1～2》 ・評価対象施策所管課との質疑応答 ・市民評価シート作成及び採点
第3回委員会	平成30年11月21日（水） 14:00～16:00	《施策3～4》 ・評価対象施策所管課との質疑応答 ・市民評価シート作成及び採点
第4回委員会	平成30年12月25日（火） 14:00～16:00	《施策5～6》 ・評価対象施策所管課との質疑応答 ・市民評価シート作成及び採点 ○第1～4回委員会全体を通しての意見交換

場所：備前市役所 2階 南応接室

## 2 外部評価（委員会評価）の評価対象施策

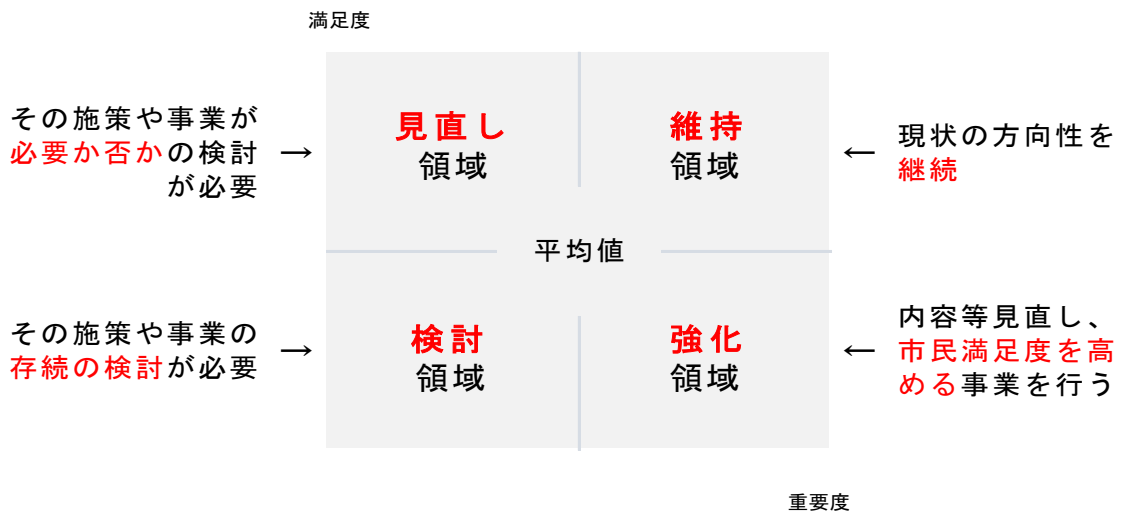
評価対象とする施策については、テーマを絞らず、各委員が「評価したい施策」を選出することとして協議を行い、以下の6施策を選定した。

No.	コード	施策名	所管課	領域
①	02-02-09	人権問題の解決	市民協働課	見直し
②	02-02-08	スポーツ・レクリエーション活動の推進	社会教育課	見直し
③	05-07-27	商工業・海運業の振興	産業観光課	検討
④	04-06-24	地域に密着した医療サービスの提供	病院	強化
⑤	04-05-18	ため池・治山対策の推進	建設課	強化
⑥	05-08-32	生活排水の適正処理	下水道課	維持

※【領域の説明】施策の重要度と満足度を5段階（例—5:重要、4:やや重要、3:どちらともいえない、2:あまり重要でない、1:重要でない、0:わからない・意見なし）で評価していただきました。対象施策（39施策）の平均値を区分線として、縦軸（満足度）・横軸（重要度）で下記の4つの領域に区切ったものです。

- 「維持領域」 …重要度高い・満足度高い  
→現状の方向を**継続**
- 「見直し領域」…重要度低い・満足度高い  
→その施策や事業が**必要か否か**の検討が必要
- 「強化領域」 …重要度高い・満足度低い  
→内容等を見直し、**市民満足度を高める**事業を行う
- 「検討領域」 …重要度低い、満足度低い  
→その施策や事業の**存続の検討**が必要

### 《グラフにおける領域の説明》



### 3 評価結果

#### (1) 評価5項目の点数化

評価の視点を5項目（成果指標の妥当性、事務事業評価の適当性、施策の有効性、進行年度の取組内容、翌年度の取組目標）とし、それぞれの視点ごとに3点満点で評価した。

#### 【委員7人の評価平均点】

回	第2回委員会		第3回委員会		第4回委員会		
日付	10/10（水）		11/21（水）		12/25（火）		
評価対象施策	人権問題の解決	スポーツ・レクリエーション活動の推進	商工業・海運業の振興	地域に密着した医療サービスの提供	ため池・治山対策の推進	生活排水の適正処理	
評価の視点							
成果指標の妥当性	（平均点）	1.7	2.0	2.0	1.9	1.4	1.9
事務事業の適当性		1.8	1.8	2.1	1.9	1.3	1.9
施策の有効性		2.2	1.8	2.0	2.0	1.6	2.0
進行年度の取組内容		1.5	1.2	2.1	1.7	1.4	1.6
翌年度の取組目標		2.0	1.5	2.0	1.7	1.4	1.7
合計点 （100点満点換算）		61.1	55.6	68.6	61.0	47.6	60.0

#### 【点数における外部評価結果】

適正な評価 （100点満点中87.5点以上）						
概ね適正な評価 （100点満点中75点以上）						
一部不適正な評価 （100点満点中50点以上）	○	○	○	○		○
不適正な評価 （100点満点中50点未満）					○	

## 表の見方についての補足説明

以下の表は、施策評価シート右半分のコメント欄を①→③の過程で評価していったことを表しています。

- ①…市民委員会にかかる前の施策評価シートの評価内容
- ②…①を市民委員会委員が個別に評価し、意見等を述べたもの
- ③…②の意見等を踏まえて、シート作成担当者が修正・訂正・対応したもの

### 施策名

※赤字は外部評価を受けての回答、対応

	内部評価	外部評価（3点満点）
	外部評価後の回答・対応	
施策評価シートのわかりやすさ		わかりやすさの観点から施策評価シート全体を見ての意見を委員ごとに記載しています。
成果指標の妥当性 事業構成の妥当性 施策の有効性	<b>【当初の内部による5段階評価】</b> 「成果指標の妥当性が…」 「事業構成の妥当性が…」 「施策の有効性が…」 1:非常に低い 2:低い 3:どちらでもない 4:高い 5:非常に高い  当初の内部評価（担当課長による）コメント	<b>【各委員の5段階評価。当初より上がれば↑ 同じなら→ 下がれば↓】</b>  左記の内部評価コメントを見て、各委員が感じた意見等
(5段階なし) 進行年度の取組内容		
(5段階なし) 翌年度の取組目標	<b>【評価：変更・修正の有無】</b> <b>【判断理由：表現の変更の有無】</b> 右記②の5段階評価、および各委員からの意見等を受け、上記の評価をどのように修正、対応したかを記述しています。	≪項目採点：この項目のコメントの仕方に関して、3.0点満点で委員が評価し平均を求めたもの≫ 内部評価コメントは… 0:妥当でない 1:欠ける点あり 2:おおむね妥当である 3:妥当である
<b>【上記以外の内部評価への指摘事項・提言】</b>		
上記の内容以外で委員からの指摘事項・提言・意見等を記述しています。		

(2) 各施策の評価結果とその対応

① 02-02-08 スポーツ・レクリエーション活動の推進

※赤字は外部評価を受けての回答、対応

	内部評価 外部評価後の回答・対応	外部評価（3点満点）
施策評価シートのわかりやすさ		<ul style="list-style-type: none"> <li>・わかりやすい。</li> <li>・（内容は）理解できました。</li> <li>・指標がどのように決まったのかなど、もっと情報がないと深く内容を見ることができない。良い取組が出来ているのかわかる判断できない。成果指標の結果、どのような対策、新規事業が必要か明確に表現されていない。検討された形跡がシートではわからない。</li> <li>・概ね、平易でわかりやすい文章であると思います。ただ、第3種公認競技場、VFM、PFI等は自分で調べました。</li> </ul>
成果指標の妥当性	<p>【4 高い】</p> <p>本市のスポーツ振興基本計画により「生涯スポーツ社会実現に向け成人の週一回以上のスポーツ実施率が50パーセント以上となることを目指す」に徐々に近づけていけるように、各種スポーツ施策を展開することとしている。</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>【評価：変更・修正なし】</p> <p>【判断理由：表現の変更なし】</p>	<p>【A委員評価→4 高い】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・わかりやすい。</li> </ul> <p>【B委員評価↓2 低い】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標は理解できるが、施策の参考指標の目標に問題がある。</li> </ul> <p>【C委員評価↓3 どちらともいえない】</p> <p>【D委員評価↓2 低い】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民誰でもが、各世代に合わせ、健康、体力づくりに取り組むためのきっかけづくりや機会の充実を図る対策、事業計画が見当たらない。</li> </ul> <p>【E委員評価↓3 どちらともいえない】</p> <p>【F委員評価→4 高い】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H32の目標に合わせて修正していますが、妥当と判断します。H28までの目標は、H32目標を達成するために高めに設定したものと理解します。ただ、施設利用者に、外部の大口利用者を組み込むことは妥当なのか、という疑問があります。</li> </ul> <p>≪項目採点 3.0点満点中：平均2.0点≫</p>
事業構成の妥当性	<p>【3 どちらともいえない】</p> <p>スポーツ人口を増やす取り組みとして、スポーツフェスティバルやトップアスリートの招聘や、障がい者も参加できるスポ</p>	<p>【A委員評価→3 どちらともいえない】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理者の役割が明確に見えない。目標設定、モニタリング状況など記載すべき。</li> </ul>

	<p>ーツイベント教室などを開催し、スポーツを始めるきっかけづくりの場を提供している。また、指導者の育成・確保の取り組みとして登録制度を取り入れ、出前スポーツ教室としてスポーツ機会の促進を図っている。</p> <hr/> <p>【評価：変更・修正なし】 【判断理由：表現の変更あり】</p> <p>スポーツ人口を増やすため、多種目のスポーツを体験できるスポーツフェスティバルの実施や、障がい者も参加できるスポーツ教室などを開催し、スポーツを始めるきっかけづくりの場を提供している。また、指導者の育成・確保の取り組みとして登録制度を取り入れ、出前スポーツ教室も実施してスポーツ機会の促進を図っている。</p>	<p>【B委員評価→3 どちらともいえない】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4から5にするには各地区の公民館活動をもっと利用しようではありませんか。</li> </ul> <p>【C委員評価→3 どちらともいえない】</p> <p>【D委員評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民が毎年このシートを見て得るものは何かがわかりづらいため、シートを見ようとは思わない。事務事業を行ってどのような成果があるのか市民にとってわかりづらい。もっと市民にわかりやすい事務事業シートにすべきである。</li> </ul> <p>【E委員評価→3 どちらともいえない】</p> <p>【F委員評価→3 どちらともいえない】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象と目的からは、概ね妥当と判断する。</li> </ul> <p>≪項目採点 3.0点満点中：平均1.8点≫</p>
<p>施策の有効性</p>	<p>【3 どちらともいえない】</p> <p>高齢化が進んでいるためか、週に1日以上運動している人割合は伸び悩んでいる。目標が達成できるよう市民のニーズに沿って魅力あるスポーツイベントの開催をはじめ、スポーツをはじめるきっかけづくりの場を積極的に提供していく必要がある。</p> <hr/> <p>【評価：変更・修正なし】 【判断理由：表現の変更あり】</p> <p>少子高齢化と人口減が進んでいるためか、スポーツ実施率は伸び悩んでいる。目標が達成できるよう市民のライフステージに応じてスポーツに親しむ機会の充実を図る。魅力あるスポーツイベントの開催をはじめ、スポーツをはじめるきっかけづくりの場を積極的に提供していくとともに、する・みる・ささえるの理解を深める必要がある。</p>	<p>【A委員評価→3 どちらともいえない】</p> <p>【B委員評価→3 どちらともいえない】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今のままでは中長期的に見て達成の気配がない。</li> </ul> <p>【C委員評価→3 どちらともいえない】</p> <p>【D委員評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施策の有効性と中長期の達成見込み？に対する回答が、「スポーツを始めるきっかけづくりの場を積極的に提供していく必要がある」とあるが、市民がこのシートを見て、内容が理解できるのだろうか。誰に向かったの資料なのかわからない。</li> </ul> <p>【E委員評価→3 どちらともいえない】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指標分析はできているが事業にどう結び付けていくか。</li> </ul> <p>【F委員評価→3 どちらともいえない】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象と目的からは概ね妥当と判断する。</li> </ul> <p>≪項目採点 3.0点満点中：平均1.8点≫</p>

<p>進行年度(H30)の取組内容</p>	<p>第3種公認を受けた陸上競技場でオリンピックによる陸上競技教室を開催したり、市民の日常生活の中にスポーツが一層取り入れられよう、スポーツフェスティバルや各種スポーツイベント等など開催したりして、スポーツ実施率を目標値に近づけるよう努めている。また、スポーツによる地域活性化推進のため、スポーツツーリズムにつながる架橋を使ったマラソン開催に取り組んでいる。</p> <hr/> <p>【表現の変更あり】</p> <p>第3種公認を受けた陸上競技場でオリンピックによる陸上競技教室を開催したり、市民の日常生活の中にスポーツが一層取り入れられよう、体験型のスポーツフェスティバルの実施や、障がい者や高齢者も楽しめるポッチャ、シッティングバレーボールの研修など開催したりして、スポーツをほとんどしていない人を減らすよう努めている。また、市民のスポーツ参画拡大のため「ささえる」地元住民参加型のマラソンに変更し、ペアマラソン種目も実施する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題をもっと明確にする必要がある。</li> <li>・行政でよく見られるとおりであり、課題、問題の把握はすばらしいが、解決策が伴っていない。広く意見を交わしましょう。</li> <li>・他との情報交換が必要です。スポーツへの関心を提供する方法（を工夫すればどうか）</li> <li>・進行年度の取組み内容は、市民に対して内容がわかりづらいため、抱える課題やニーズはどのような手法を用いて解決するのか、また、どのような状況になれば廃止・終了するのが明確でない。今後の取組方向性はどうかについては、明確に方向性を含め答えられていない。</li> <li>・課題把握はできているが、解決に向けて今までと同じことをしてはいけないと思う。</li> <li>・現況と課題、取組み内容、取組み目標の記述内容は、かなり前から広く認識されており、さほど変わっていないと思われます。現時点でほぼ変わっていないということになると根本的な課題、問題があるように思われます。ニーズ調査については、自治体個々で変わるものと思われます。全国的なニーズ調査は、参考にはなりますが、的確ではないように感じます。</li> </ul> <p>≪項目採点 3.0点満点中：平均1.2点≫</p>
<p>翌年度(H31)の取組目標</p>	<p>市民ニーズに沿ったスポーツ・レクリエーション大会や各種スポーツイベントを開催する。</p> <p>スポーツを始めるきっかけづくりとなる機会や場所を提供することにより、成人が週1回15分以上スポーツを行う人の割合を高め、生涯スポーツ社会の実現により地域活性化につなげていく。</p> <hr/> <p>【表現の変更あり】</p> <p>市民ニーズの把握に努め、ライフステージに沿ったスポーツ・レクリエーション大会や取り組みやすい各種スポーツイベントを開催する。スポーツを始めるきっかけづくりとなる機会や場所を提供することにより、成人が週1回以上スポーツを行う人の割合を高め、生涯スポーツ社会の実現を通して地域活性化にもつなげていく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯スポーツと競技スポーツをバランスよく進めていっているように見える。</li> <li>・取組目標は良いと思いますが、その方法が伴っていないと見受けられる。上からの一方的視野になりがちである。</li> <li>・楽しい交流を押し上げること、高齢者対応など、今元気なのは高齢者です。</li> <li>・言葉を並べているだけであり、具体的取組、年齢別取組、高齢者のための健康維持するためのスポーツなど対策・取組に感情が入っていない。ここに書かれている内容は、誰でもが考えられる一般的に表現されている言葉を羅列しているだけである。内容が乏しい。</li> <li>・市民ニーズはどこにあるのだろうか。</li> <li>・第3種公認競技場の認定を受けるために、かなりの財源を投資しているように見えます。認定を受けることが、本施策にどのような効果を及ぼすか、市民のニーズ</li> </ul>



に応えるものなのか、が不明のような印象を受けます。

《項目採点 3.0点満点中：平均1.5点》

**【上記以外の内部評価への指摘事項・提言】**

- ・担当課として、目標を持ち、どうにかそれを達成しようとする気持ちは理解できますが、ここに縦割り行政の問題が見られます。どうして、この施策を達成するために各公民館を利用しないのですか？各地区公民館は、地区のスポーツレクリエーションに対して、いろいろ自分たちで費用を出し合って活動していますよ。
- ・全体的に「何をいつまでに、どのように」がわかりづらい。
- ・今までと同じことをしてはいけない。あれもこれもではなく、思い切って軽重つけて課題把握をもとにピンポイント施策も必要ではないか？
- ・施策成果指標について、施設利用等について、市民と市民以外の方と区別して、集計されてはいいかかと思えます。理由は、目的、要望、それに伴う施策等が異なるのではないかと思うからです。市民を対象とした場合、どこでもすることができる環境を提供することが主眼となるような気がします。（市民のニーズは把握していません）また、健康寿命の延伸にかかわることと思えますが、これに関する他の施策との連動を考慮されていないのではないかととも思えます。

これに対して、市民以外の利用者にとっては、備前に行けばできる、というものであれば継続性が担保されるのではないかと思えます。これには、宿泊、消費、観光等も絡んできますので、これに関連する他の施策との連動を考える必要があると思えます。

**【その他委員会当日出された意見等】**

《各種団体への補助金》

- ・市から体育協会に向けて補助金を出しているが、地域によつての格差が否めない。時間が掛かっても公平・公正を保てるよう進めることは重要である。

《指定管理》

- ・市から指定管理委託に出している施設に対する運営チェックは厳格に行う必要がある。

《イベント開催の提案》

- ・スポーツをしている世代は、若い世代ではなくシルバー世代（50～70歳代）である傾向がわかった。保健関係の課と共同でのスポーツイベントができないか？
- ・スポーツ施設としては、市民に対しては普通のことのできる環境を整えることが重要で、市外からの利用者に対しては、備前市の来ないとできないというようなイベントを企画するなど対象を分けて考えるべきである。

② 02-02-09 人権問題の解決

※赤字は外部評価を受けての回答、対応

	内部評価 ----- 外部評価後の回答・対応	外部評価（3点満点）
施策評価シート のわかりやすさ		<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章は、わかりやすいものになっている。</li> <li>・指標をどのように決定したのか、現状と課題の内容分析との整合性が、市民にとってわかりづらい。</li> <li>・この施策成果指標から、良い取組が出来ているのかどうかの判断がしにくい。</li> <li>・このシートが無くなっても困る人はあまりいないと思う。このシートをどのように役立てたら良いのかよくわからない。</li> <li>・抽象的な文言なので具体がわかりにくい。</li> </ul>
成果指標の妥当性	<p>【3 どちらともいえない】</p> <p>指標の数値が高くなることは、より多くの市民が人権啓発の機会を得ることになるので、成果指標として妥当と考えるが、意識の変化や理解度も勘案しなければならないので、評価を3とした。</p> <p>-----</p> <p>【評価：変更・修正なし】</p> <p>【判断理由：表現の変更なし】</p>	<p>【A委員評価→3 どちらともいえない】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・妥当。市民アンケート指標がもう少しあればよい。</li> </ul> <p>【B委員評価↑4 高い】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「意識の変化や理解度も勘案する」とありますが、それは結果であって目標としては良いと思う。</li> </ul> <p>【C委員評価→3 どちらともいえない】</p> <p>【D委員評価↓2 低い】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・誰に対しての資料なのかよくわからない。もっといろいろな情報が盛り込まれないと深く内容を読み取ることができない。</li> </ul> <p>【E委員評価→3 どちらともいえない】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の意識の変容や理解度をどのようにとらえようとしているのかわかりにくい。</li> </ul> <p>【F委員評価↓2 低い】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・確かに講演会等への参加割合は、意識の高さを表すものであると思われる。しかし、施策名の「人権問題の解決」という観点からは、人権侵害件数0（ゼロ）が究極の目標と思われる。</li> </ul> <p>≪項目採点 3.0点満点中：平均1.7点≫</p>

<p><b>事業構成の適当性</b></p>	<p>【4 高い】  人権問題の解決や男女共同参画社会の実現のためには、あらゆる機会を捉えた啓発活動や問題提起が必要である。</p> <hr/> <p>【評 価：変更・修正なし】  【判断理由：表現の変更なし】</p>	<p>【A委員評価↓3 どちらともいえない】  ・事業名にするとこうなるのだろうがどれだけ幅広くやっているかもう少しわかりやすくしてもよい。</p> <p>【B委員評価→4 高い】</p> <p>【C委員評価↓3 どちらともいえない】</p> <p>【D委員評価↓2 低い】  ・施策評価シートと事務事業シートは目標連鎖の課題認識と解決方法が明確でないため、従来からの言葉を並べているだけで、課題解決の内容・取組が乏しい。</p> <p>【E委員評価→4 高い】  ・取組が成果につながるようにしたい。</p> <p>【F委員評価↓3 どちらともいえない】  ・対象と目的からは、概ね妥当と判断する。</p> <p>《項目採点 3.0点満点中：平均1.8点》</p>
<p><b>施策の有効性</b></p>	<p>【4 高い】  成果指標の「人権教育・啓発研修会、イベント等参加者数について、評価年度の達成率は前年度と比較して大きく伸びており、目標値に近づいている。</p> <hr/> <p>【評 価：変更・修正なし】  【判断理由：表現の変更なし】</p>	<p>【A委員評価→4 高い】  ・妥当。</p> <p>【B委員評価↑5 非常に高い】  ・人権教育他、イベントの参加者が28年度少し落ち込み、29年度に前年対比113%と伸びている。その点は評価できる。</p> <p>【C委員評価↓3 どちらともいえない】</p> <p>【D委員評価↓2 低い】  ・課題認識はもっと市民にわかりやすいようにしてほしい。施策展開の分析は言葉だけで分かりにくい。もっと市民に理解してもらうための努力が必要。</p> <p>【E委員評価→4 高い】  ・目標が低いので達成度が高い。</p> <p>【F委員評価↓3 どちらともいえない】  ・対象と目的からは概ね妥当と判断する。</p> <p>《項目採点 3.0点満点中：平均2.2点》</p>
<p><b>進行年度(H30)の取組内容</b></p>	<p>より多くの市民に講座や研修会へ参加していただけるように、周知の方法を検討し、男性の参加者の増加にも努めていく。  また、参加者のアンケート調査等を活用</p>	<p>・最近の問題などを明確にする必要がある。</p> <p>・「詳しく・・・」と思うとき範囲が広くなりがちなので進め方を特定してみれ</p>

	<p>して、より満足度の高い研修となるよう内容の充実を図っていく。</p> <hr/> <p><b>【表現の変更あり】</b> 下記を追加  人権に関する相談内容で最も多いものはDVに関する相談であるため、出前講座を開き、子育て世代に向けてDV防止・被害者支援に関する講座を開催する。</p>	<p>ばどうか？例えば『子ども』『高齢の人』『企業』など支え合うことを大切に啓蒙して欲しい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状の把握、評価、対応策の繋がりが見受けられない。男性参加者の増加の取組が不明確。参加者アンケートを活用して、満足度の高い研修とあるが、アンケート内容の具体性に欠けているため、市民に取組内容がわかりにくい。</li> <li>・参加人数を増やし、さらに一步踏み込んだ意識改革を図るための方策も考えたい。</li> <li>・「人権問題の解決」という観点からは、意識改革も根本的な手段として重要であるが、対処療法的に市内の具体的な人権侵害の事例にどのようなものがあるのか、それに対して相談環境がどのようになっているのか、それに対して相談環境がどのようになっているのかも重要と思われる。それに関する活動の情報がない。</li> </ul> <p>《項目採点 3.0点満点中：平均1.5点》</p>
<p><b>翌年度(H31)の取組目標</b></p>	<p>人権問題の解決や、男女共同参画社会の実現への意識の高揚を図るため、引き続き、市民が自発的に学習できるように、研修会や講座など学習の機会の提供を行っていく。</p> <p>相談事業についても、被害者等が安心して相談できるよう、職員のスキルアップと関係各課との連携を進めていく。</p> <hr/> <p><b>【表現の変更なし】</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員のスキルアップと関係各課との連携を進めるとありますがまさにその通り。取組を強化してください。</li> <li>・市民のニーズは、現在起きている人権問題の直接的な解決ではないかと思われます。</li> </ul> <p>《項目採点 3.0点満点中：平均2.0点》</p>
<p><b>【上記以外の内部評価への指摘事項・提言】</b></p>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様なものの整理、その各項目に合った対策（事業）の関連づけが必要。</li> <li>・「人権問題」にはいろいろある。私が子供だった頃の人権問題と、今の人権問題とは内容が大きく変わってきている。こんな大人社会の中で生き抜くためにやはり小中学校での意識の確立が大切だと思う。思春期の何でも吸収できる少年時代にこそ教育が必要だと思う。小学校、中学校での取り組みを大きくのばして欲しい。</li> <li>・努力の跡が見える。</li> <li>・対象をひとつずつ特定してみることに。</li> <li>・「人権侵害の多様化」との課題を挙げているが、事業がDVのみとなっている。</li> <li>・イベントの効果の評価をしっかりとやるべきでは？（単に人数ではない）</li> </ul> <hr/>		

【その他委員会当日出された意見等】

≪研修会≫

- ・ 人権啓発研修会開催の働きかけは、一般市民へはもとより、教育委員会関係、企業に向けてあらゆるチャンネルを通じて行っている。企業に向けた土日の開催は不評であった。
- ・ 一方的なメッセージの伝達でなく、ワークショップなどの参加型手法では参加者が減る傾向にあるため、あえてワークショップを避けている現実が悩ましい。

≪シートへの表現≫

- ・ 施策評価シートを市民に公開する観点からすると、行政言葉が多くわかりにくいと感じる。

≪人権問題の多様化≫

- ・ 人権問題は多様化しているのに、なぜDVばかり？多様化しているのであれば年度ごとにその項目を入れていくべきである。効果的な啓発活動をするには、どの程度どのような問題が存在しているのか把握する必要がある。すべてを正確に把握することは難しいが、ある程度把握して、それに対する対策という手法をとった方が効果的ではないか。

≪施策評価シートの修正≫

下記のとおり、参考指標について修正する。

【修正前】

⑥ 施策成果指標（基本目標・基本施策・施策意図から設定）

参考指標	施策に対する成果指標名	単位	過年度実績			評価年度	成果指標の計算式の説明 ベンチマークの説明	目標値	
			H27	H28	H29				
①	人権教育講師派遣事業における研修会の満足度	目標	%	—	—	90.0	学校園・企業等に講師を派遣する研修会における受講者アンケートで「満足した」と答えた人の割合		
		実績	%	—	—	87.0		H32	90
		達成率	%					H34	90
		ベンチマーク						—	—
②	DV(ドメスティック・バイオレンス)(※)と思われる行為を受けたことがあると答えた市民の割合	目標	%	6.0	6.0	3.0	市民意識調査結果		
		実績	%	—	3.3	—		H32	3.0
		達成率	%		55.0			H34	2.5
		ベンチマーク						—	—
③	地域や職場で男女が対等に活躍できていると感じている市民の割合	目標	%	25.0	30.0	30.0	市民意識調査結果		
		実績	%	—	23.9	—		H32	30.0
		達成率	%		79.7			H34	35.0
		ベンチマーク						—	—



【修正後】・・・黄色セル部分を修正

参考指標	施策に対する成果指標名	単位	過年度実績			評価年度	成果指標の計算式の説明 ベンチマークの説明	目標値	
			H27	H28	H29				
①	人権教育講師派遣事業における研修会の満足度	目標	%	—	—	90.0	学校園・企業等に講師を派遣する研修会における受講者アンケートで「満足した」と答えた人の割合		
		実績	%	—	—	87.0		H32	90
		達成率	%			96.7		H34	90
		ベンチマーク						—	—
②	DV(ドメスティック・バイオレンス)(※)と思われる行為を受けたことがあると答えた市民の割合	目標	%	6.0	6.0	3.0	市民意識調査結果		
		実績	%	6.1	—	3.3		H32	3.0
		達成率	%	98.4	—	90.9		H34	2.5
		ベンチマーク						—	—
③	地域や職場で男女が対等に活躍できていると感じている市民の割合	目標	%	25.0	30.0	30.0	市民意識調査結果		
		実績	%	23.9	—	23.9		H32	30.0
		達成率	%	95.6	—	79.7		H34	35.0
		ベンチマーク						—	—

※赤字は外部評価を受けての回答、対応

	内部評価	外部評価（3点満点）
	外部評価後の回答・対応	
<p>施策評価 シート の わかりや すさ</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・わかりやすい。</li> <li>・良い。</li> <li>・理解出来ます。⑧施策の評価3（項目）ではH30とH29は同じ文言です。備前では収支が変化しています。正確なる読みを！！ →ご指摘のとおりです。修正しました。</li> <li>・指標がどのように決まったのかなど、もっと情報がないと深く内容を見ることができない。 →指標についての説明を若干追加し補正しました。</li> <li>良い取組ができているのかどうか判断できない。</li> <li>成果指標の結果、どのような対策が必要なのか明確に表現されていない。</li> <li>・わかりやすい。記載内容も適切。</li> <li>・わかりやすいと思う。</li> <li>・問題なし。</li> </ul>
<p>成果指標 の 妥当性</p>	<p>【3 どちらともいえない】</p> <p>成果指標については、全国自治体病院の医師数平均値を下回らないよう医師数を成果指標とし、参考指標には経営の健全性を示す指標として経常収支比率と病床利用率を、医療機能の面から東備消防組合管内における救急搬送の受け入れ割合とした。</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>【評 価：変更・修正なし】 【表現の変更あり】下記に変更</p> <p>成果指標は医師確保が命題であることから、自治体病院の医師数の全国平均値を成果指標としている。なお、参考指標には経営の健全性を示す指標に経常収支比率、病床利用率を、医療機能の面から東備消防組合管内における救急搬送の受入割合とした。</p>	<p>【A委員評価↑4 高い】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・わかりやすい指標となっている。</li> </ul> <p>【B委員評価→3 どちらともいえない】</p> <p>【C委員評価↑4 高い】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・11月現在で備前病院に期待をしたく、また日生病院ではH29年度を反省されてH30対策が出来てる期待で</li> </ul> <p>【D委員評価↓2 低い】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市立3病院の連携や機能分担を含め、効率的な経営の在り方を現況の課題に挙げ、全国自治体病院の医師数平均値を下回らない医師数を成果目標にしているが、市民にとって分析内容が分かりづらい。達成率が100%を下回っているのはなぜか。 →説明に若干の補正をしました。</li> <li>達成率が100%以下なのは、医師偏在等により地方の病院への医師派遣が依然として困難な状態にあるということです。引き続き努力しなければならないところです。</li> </ul>

		<p>【E委員評価↑4 高い】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指標は妥当。目標値の設定も妥当。</li> </ul> <p>【F委員評価↓2 低い】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・看護師数は？</li> <li>→決められた施設基準により看護師を配置していますので、指標としていません。</li> <li>・病床利用率が高ければいいのか？</li> <li>→概ね75%以上の利用率であれば収支は安定（均衡）しますので、高い方が良いです。</li> <li>・満足度が必須。</li> <li>→これは市民意識調査によるところであり、隔年実施となった点が残念です。</li> </ul> <p>【G委員評価→3 どちらともいえない】</p> <p>≪項目採点 3.0点満点中：平均1.9点≫</p>
<p>事業構成の 適当性</p>	<p>【3 どちらともいえない】</p> <p>事業構成は適当である。手段についても貢献度において効率性や採算性だけではなく、医療機能や住民福祉も考慮しており最適であると考えている。</p> <hr/> <p>【評 価：変更・修正なし】 【表現の変更なし】</p>	<p>【A委員評価→3 どちらともいえない】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組をやっていることが委員会でもよくわかった。</li> </ul> <p>【B委員評価→3 どちらともいえない】</p> <p>【C委員評価→3 どちらともいえない】</p> <p>【D委員評価→3 どちらともいえない】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施策の評価・項目に対して事業構成の適当性・手段は最適化に対しての評価であり、判断理由の内容は的を射ていない。市民が毎年このシートを見て得るものは何かわかりづらい。もっと市民にわかりやすい施策評価シートにすべきである。</li> </ul> <p>【E委員評価→3 どちらともいえない】</p> <p>【F委員評価→3 どちらともいえない】</p> <p>【G委員評価↓2 低い】</p> <p>≪項目採点 3.0点満点中：平均1.9点≫</p>
<p>施策の有 効性</p>	<p>【3 どちらともいえない】</p> <p>病床利用率は全国平均を上回っているが、3病院とも当初の目標である入院・外来などの業務量に及ばない。経常収支比率においては日生・吉永病院が良好なもの、備前病院はわずかに目標に達していな</p>	<p>【A委員評価→3 どちらともいえない】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3病院ごとに分析シートがあっても良いと考える。</li> <li>役割分担とかがハッキリしていないので、そのように感じられるのかもしれない。バックデータとして個々のも</li> </ul>

	<p>い。今後は原因を分析したうえで、更なる改善が必要である。</p> <hr/> <p>【評 価：変更・修正なし】 【表現の変更あり】下記に変更</p> <p>医師数は、全国平均を下回っており、確保に向けた関係機関への働きかけを継続していく。病床利用率は、全国平均を上回っているが入院・外来などの業務量の当初目標は3病院ともクリアできていない。経常収支比率は、備前病院で改善が見られたが、日生病院が前年を下回ったため遞減状態である。</p>	<p>の<b>があ</b>っていいかもしれませんが、最終は病院事業全体としての評価が重要であると考えます。</p> <p>【B委員評価→3 どちらともいえない】</p> <p>【C委員評価→3 どちらともいえない】</p> <p>【D委員評価→3 どちらともいえない】 ・施策の有効性と中・長期の達成見込み？に対する回答が不明確。また、今後は分析したうえで、更なる改善が必要とあるが、この施策評価シートが課題解決のためのシートではないのでは？</p> <p>【E委員評価→3 どちらともいえない】</p> <p>【F委員評価↓2 低い】 ・人口減に対する対策、方針（について、具体的なものはあるのか？市民病院が3つあるが今後のビジョンは？）</p> <p>【G委員評価→3 どちらともいえない】</p> <p>≪項目採点 3.0点満点中：平均2.0点≫</p>
<p>進行年度(H30)の取組内容</p>	<p>将来にわたり安定した医療、介護サービスの提供ができるよう経営基盤の強化を図るとともに、効率的な経営を行うため、3病院の事務機構の適正化と、将来的な統合を背景に、3病院の連携を深めるため、当面、北部は吉永病院を核に、南部は備前・日生の2病院を連携させるという、生活圏に合わせた運営に向けた準備を進めている。</p> <hr/> <p>【表現の変更なし】</p>	<p>・現状では、この内容になると思われる。</p> <p>・早く核となる病院を指定し、3病院を共存させてほしい。</p> <p>・備前病院について11月現在の医師の配置を期待します。そして医師の確保の重要性を一層感じます。</p> <p>・進行年度の取組内容は、市民に対して内容が分かりづらいため、抱える課題やニーズは、どのような手法を用いて解決するのか、また、どのような状況になれば廃止・終了するのが明確でない。今後の取組方向性はどうかについては、明確に方向性を含め答えられていない。</p> <p>≪項目採点 3.0点満点中：平均1.7点≫</p>
<p>翌年度(H31)の取組目標</p>	<p>引き続き安定した医療、介護の提供が出来るよう経営基盤の強化を図るとともに、医療・介護サービスの充実を目指し、北部は吉永病院、南部は備前・日生の2連携により、生活圏に合わせた運営を進展させ</p>	<p>・医師と職員が一体となって、さらに議論を深めることをやっていくべきではないか。</p> <p>・施策の評価は、通り一遍の表現で市民に対して説得力がない。ただの報告書に過</p>



る。  
また、住み慣れた地域で最後まで自分らしい暮らしができるよう地域包括ケアシステムの確立を目指す。

ぎない。内容が乏しい。数字の上り下りを評価することが目的化しており、そもそも施策が達成されているかどうか考えることがおろそかになっている。目標達成のための行動・取組がわかりづらい。

《項目採点 3.0点満点中：平均1.7点》

【表現の変更なし】

【上記以外の内部評価への指摘事項・提言】

- ・病院の経営は、企業経営と似たところがあり、結果（収支）が良いとすべて良いというところがあり、担当職員の頑張りとは必ずしも比例しない部分があり大変だと思います。頑張ってください。
- ・金曜日のこと、家族の者が誤診を受け、土曜日に事が起こり先生が居られず（備前病院）他病院を受診即入院。予定より長期の入院となる。先生へそのことを伝えました。謝られました。
- ・利用者の中での市民の割合はどれぐらいなのか？
- ・（3病院の）統合を急ぐべき。
- ・3病院なかよく、体制・経営を強化してほしい。

【その他委員会当日出された意見等】

《公立病院と民間病院》

- ・備前病院に外科の常勤医師が来られた。救急の受け入れ面でも体制が整った。小児科については近隣に小児科医がいないため吉永病院には非常勤医師がいるが、備前は近隣に小児科医があるので、医局からの配置は困難であるとの話であった。産科医も吉井川より東にいないという現状であるが、産科医の絶対数が少なく、インフラ整備も課題となる。地域医療は、かかりつけ医と都市部の大きな病院という関係性がこれから重要になる。

《備前市の公立3病院》

- ・3病院の今後について、核病院を一つ作るべきだと思うが、今の市の方針は南北の2拠点ということだった。
- ・3病院の統合を見据えた人事交流や共同調達の進み具合については、備品類の共用化や薬の共同購入が実現できたとのことであった。
- ・意識調査の結果では、吉永病院の満足度が高く、日生、備前の満足度が低い。また、人件費率などの違いもあるが、このような違いが生まれる原因は何か？ジェネリック薬品については、推進するのかそうでもないのかあいまいな気がするが、個人の負担や経営面だけでなく、医師の判断によることも多い。
- ・平成21年の答申内容については、実現されなかった。人口減少の時代を迎え、早期に答申を作成すべきではないか。また、事業管理者を筆頭に院長が、3病院全体としてのレベルの底上げを期待したい。

《医療職員の確保》

- ・ 医師の確保は大きな課題として認識されており、また、看護師の確保は、配置基準に照らし、何とか間に合っているとのことであった。

※赤字は外部評価を受けての回答、対応

	内部評価	外部評価（3点満点）
	外部評価後の回答・対応	
施策評価シート のわかりやすさ		<ul style="list-style-type: none"> <li>・内容はわかりやすい。</li> <li>・概ね理解出来ます。</li> <li>・市民意識調査においても、重要度・満足度ともに平均値以上であり、市民関心度は高く良好な関係にある。今後期待したいのは、備前市には海・山に囲まれた地域であるため、海・川、そして人への影響に関するPR活動を積極的に行ってほしい。</li> <li>・問題なし。</li> </ul>
成果指標の 妥当性	<p>【4 高い】</p> <p>汚水処理人口普及率は、市の汚水処理の状況が把握できます。普及率が上がることで、河川域や海域などの公共水域の水質が保全され、市民が快適な生活を送れることとなり、指標として妥当といえます。</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>【評 価：変更・修正なし】 【判断理由：表現の変更なし】</p>	<p>【A委員評価↓3 どちらともいえない】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リサイクル、再利用を進めているのであれば、それを指標としてもいいと考える。</li> </ul> <p>【B委員評価→4 高い】</p> <p>【C委員評価→4 高い】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史的にみても先進国の指導もあり環境についても文化的生活に係ることです。日本国備前市において、先人の魂を盛り込むことの大切さを実感します。しいては、これからの市政も目的を持って欲しいと願う。</li> </ul> <p>【D委員評価→4 高い】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・妥当と考える。</li> </ul> <p>【E委員評価→4 高い】</p> <p>【F委員評価↓2 低い】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水質の直接的な調査は不可？生活排水がほぼなら現指標でOK。</li> </ul> <p>【G委員評価↓3 どちらともいえない】</p> <p>≪項目採点 3.0点満点中：平均1.9点≫</p>
事業構成の 妥当性	<p>【4 高い】</p> <p>地域の特性を考慮したり、効率的な整備を行うために、公共下水道の手法だけでなく、合併浄化槽による水洗化を推進しています。事業構成は適当なものといえます。</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/>	<p>【A委員評価↓3 どちらともいえない】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・整備の見直しがあっても良いのではないかと。</li> </ul> <p>【B委員評価→4 高い】</p> <p>【C委員評価→4 高い】</p> <p>【D委員評価→4 高い】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さらに目標数値を伸ばすために今後何を</li> </ul>

	<p>【評 価：変更・修正なし】 【判断理由：表現の変更なし】</p>	<p>するか。また、課題解決するために何を するかが明確にされるとよい。</p> <p>【E委員評価→4 高い】</p> <p>【F委員評価→4 高い】 ・現指標であれば妥当と思える。</p> <p>【G委員評価↓3 どちらともいえない】</p> <p>《項目採点 3.0点満点中：平均1.9点》</p>
<p>施策の有効性</p>	<p>【4 高い】 公共下水道整備は終盤を迎えており、普及率を増加させることで、水洗化率も上がる見込みです。放流水質については、経営を考慮したストックマネジメントを進めながら、引き続き処理水質の安定及び維持管理コストの削減を目指します。</p> <hr/> <p>【評 価：変更・修正なし】 【判断理由：表現の変更なし】</p>	<p>【A委員評価→4 高い】</p> <p>【B委員評価→4 高い】</p> <p>【C委員評価→4 高い】</p> <p>【D委員評価→4 高い】 ・課題認識はもっと市民にわかりやすいようにしてほしい。</p> <p>【E委員評価→4 高い】</p> <p>【F委員評価→4 高い】 ・現指標であれば妥当と思える。</p> <p>【G委員評価↓3 どちらともいえない】</p> <p>《項目採点 3.0点満点中：平均2.0点》</p>
<p>進行年度(H30)の取組内容</p>	<p>木生処理分区、伊里第1処理分区の幹線、枝線の整備を行う。既存の処理施設や管路施設の有効な活用や長寿命化を図るため、29年度に引続きストックマネジメントに基づいた基本計画の策定を行う。全体計画として、管路調査、資産情報の収集整理、リスク評価、長期改築事業のシナリオを行う。</p> <hr/> <p>【表現の変更なし】</p>	<p>・経営戦略の考え方を入れるべき。</p> <p>・未整備地域のことなど早期の実行施設を望む。(東片上地区は早期の施行で安心・安全)</p> <p>・課題認識ができていの中で、解決の優先順位をつけて課題解決を速やかに実行してほしい。</p> <p>・財政健全化策が明示されるとよい。 浄化槽設置事業の上乗せ金については有効性が不明。であるならば別の方策も考えてほしい。</p> <p>・課題把握はしている。将来に負担をまわすということのない健全化施策をお願いします。</p> <p>《項目採点 3.0点満点中：平均1.6点》</p>

<b>翌年度 (H31)の取 組目標</b>	<p>木生処理分区、伊里第1処理分区、伊里第2処理分区の幹線、枝線の整備を行う。</p> <p>ストックマネジメントについては、実施計画として施設管理の目標設定、点検調査計画、修理改築計画の策定を行なう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営の観点がほしい。</li> <li>・施設の維持管理のことを忘れず、取組のマネジメントをよろしく願うのみです。</li> <li>・市民からの満足度・重要度は高いため、今後も継続して取り組んでほしい。何気なく流している生活排水によって、水質汚染が起こり、海や川に異常をもたらしている私たちに対する意識啓蒙活動の推進をしてほしい。</li> <li>・市民へのPR、啓発活動を進めるべき行政として事業への取組と同様に大切なことと考える。</li> </ul> <p>≪項目採点 3.0点満点中：平均1.7点≫</p>
--------------------------------	--	---

【表現の変更なし】

**【上記以外の内部評価への指摘事項・提言】**

- ・どうすれば下水道料金が下げられるかなどにもう少し頭の切り替えがほしい。市民にとって重要な部門の一つです。満足度がH27よりH29は下がっています。なぜ？一度考えてみてください。
- ・和気町では下水施設率100%と数年前に打ち上げております。市町の大きさでは差がありますが、その数字の目標は近年で実現できますか？よい返答を聞けますように！！
- ・評価シートの⑦新規事業及び他部署の事業欄に「期待」としていくつかあげている。具体性が見えないのなら新規と言えず他部署との連携（そこまではないか）とは言えないと思う。期待される効果を書く欄だから良いのかもしれないが「単に書いてみた」だけになってほしくない。
- ・災害・経営問題が多々あるかと思いますが安定した運営をしていただきたい。

**【その他委員会当日出された意見等】**

≪下水道料金≫

- ・下水道料金は、原則上水道料金を基準に決めている。製氷業とか散水で下水道に水が流れないことが大きい場合は、下水道に流れる量か、または流れない量を計測して水道料金検針時に下水道量を報告してもらい、その分を減額する制度もある。

≪財政健全化≫

- ・財政健全化について、下水道工事に関する経費の回収率が66%、吉永の一部の地域については47%と低い。これらを解消するために、将来長い期間に渡るだろうが、
  - 使用料金の改定
  - ストックマネジメント計画による今現存する資産の活用による対応等で解消していきたい。

≪浄化槽補助事業≫

- ・公共下水道認可区域外の市民が合併浄化槽設置に関する費用について補助金を交付する事業に関して今後も継続して実施していく。しかしながら、まだ、浄化槽を設置していない家庭の個々の事情についてはいろいろあり、市が個人の事情まで踏み込むことまではできない。

#### 《下水道普及率》

- ・ 備前市の下水道普及率は91.2%で他市町村と比較しても高い状況である。

#### 《水質》

- ・ 現在、『水』というテーマに関しては難しい局面にある。浄化によりきれいな水を目指すのは当然のようではあるが、きれいになり過ぎても栄養不足でよくないとされ、国から浄化の程度もコントロールを要求されている現状がある。(海苔の色落ち、牡蠣の不育、魚の減少)

#### 《コンセッション》

- ・ 下水道事業に関しては、「コンセッション方式」という民間への委託方式も国から提案されている中、今後どうなっていくのか注目の分野である。

※施設の所有権は公共団体が所有していながら、営業権、運営権を民間企業に売却し、運営を任せ  
る方式。広義の指定管理制度。

※赤字は外部評価を受けての回答、対応

	内部評価 外部評価後の回答・対応	外部評価（3点満点）
施策評価シート のわかりやすさ		<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題ない。</li> <li>・地域経済の指標で、内容は多岐にわたるが実際の実効性については中身はうすい。この起業は本当のリーダー教育がされたものの発掘にある文章に完成を感じない。</li> <li>・指標がどのように決定したのか、市民にとってわかりづらい。このシートが無くなっても困る人はあまりいないと思う。このシートをどのように役立てたら良いか課題認識はあるので、今後に期待する。</li> <li>・平易で分かりやすいが、やや具体が見えにくい記述箇所もある。</li> <li>・（平易で分かりやすい文章に）なっているとされる。</li> <li>・文章は十分わかりやすい。</li> </ul>
成果指標の妥当性	<p>【3 どちらともいえない】                      雇用状況、景気動向、市内の経済動向を知るためには、総合計画の成果指標として妥当であるが、本調査が5年に1度のため、次年度に改正を検討する。</p> <hr/> <p>【評価：変更・修正なし】                      【判断理由：表現の変更あり】</p> <p>雇用状況、景気動向、市内の経済動向を知るためには、総合計画の成果指標として妥当であるが、成果指標については、5年に1度の調査数値であるため、毎年度の評価が困難である。成果を評価しやすい指標を検討する。</p>	<p>【A委員評価→3 どちらともいえない】                      ・指標はいいが、説明を加える必要がある。</p> <p>【B委員評価↑4 高い】</p> <p>【C委員評価→3 どちらともいえない】</p> <p>【D委員評価→3 どちらともいえない】                      ・もっといろいろな情報が盛り込まれないと深く内容を読み取ることができない。市民にわかりづらい。</p> <p>【E委員評価→3 どちらともいえない】                      ・指標の改正を検討するとの記載があるが、このことは前の5年間の間にはわかっていなかったのだろうか？ここが動いているのは経年変化妥当性がわかりづらい。</p> <p>【F委員評価→3 どちらともいえない】                      ・成果、参考を統合すれば妥当と思われる。</p> <p>【G委員評価→3 どちらともいえない】                      ・問題なし</p> <p>≪項目採点 3.0点満点中：平均2.0点≫</p>

<p><b>事業構成の適当性</b></p>	<p>【4 高い】 事業構成としては、適当であるが、観光振興事業など他事業との連携を図りながら、既存の商工業の振興に繋げる施策を検討する必要がある。</p> <hr/> <p>【評 価：変更・修正なし】 【判断理由：表現の変更あり】</p> <p>事業構成としては、市内企業の支援策が主な事務事業となっており、成果に結びつく構成となっている。また、企業誘致については、雇用の確保の観点からも重要な事業である。</p>	<p>【A委員評価→4 高い】 ・取組内容がいいが、企業マッチングを推進すべき</p> <p>【B委員評価→4 高い】</p> <p>【C委員評価↓3 どちらともいえない】</p> <p>【D委員評価→4 高い】 ・さらに目標数値を伸ばすために今後何をするか。また、課題解決するために何をすることが明確にされるとよい。</p> <p>【E委員評価↓3 どちらともいえない】 ・一般的にはこのような手段で進めると思われるが、結果につなげるためにはどうだろうか？</p> <p>【F委員評価→4 高い】 ・（評価点数の判断理由は）妥当</p> <p>【G委員評価↓3 どちらともいえない】 ・PRについて今後考える必要あり。どうしても備前市はおとなしい。 《項目採点 3.0点満点中：平均2.1点》</p>
<p><b>施策の有効性</b></p>	<p>【3 どちらともいえない】 新卒者の求人数や有効求人倍率は増加傾向にあることから、雇用の場の創出が図れているため、引き続き企業誘致を推進する。しかしながら、商工業に関する指標が目標達成できていないことから、関係団体と連携強化を図り、販路拡大等が推進できれば目標達成ができる。</p> <hr/> <p>【評 価：変更・修正なし】 【判断理由：表現の変更あり】</p> <p>有効求人倍率は増加傾向にあることから、就職の受け皿企業はあるものの、実際には人手不足が恒常的な分野も存在する。企業側の視点からも外国人労働者の受け入れによる雇用確保に向けた課題解決と、引き続き企業誘致を推進することで、指標の達成を目指します。</p>	<p>【A委員評価↓2 低い】 ・指標分析と課題方向性がリンクしていない。</p> <p>【B委員評価↑4 高い】</p> <p>【C委員評価→3 どちらともいえない】</p> <p>【D委員評価→3 どちらともいえない】 ・課題認識は、もっと市民にわかりやすいようにしてほしい。関係団体と連携強化を図るための具体的な取り組みがあればもっとよい。</p> <p>【E委員評価→3 どちらともいえない】</p> <p>【F委員評価→3 どちらともいえない】 ・（評価点の判断理由、指標分析は）妥当</p> <p>【G委員評価→3 どちらともいえない】 《項目採点 3.0点満点中：平均2.0点》</p>



<p><b>進行年度(H30)の取組内容</b></p>	<p>平成30年度には、市営団地の完売を目指し、次の企業団地の候補地を検討する。また、既存企業には、企業支援水道料金補助金の拡充を検討し、企業支援と雇用創出の増大を図ります。なお、工場や物流等の企業誘致と並行して、サテライトオフィスの誘致にも力を入れます。</p> <p>さらには、商工業の製造品出荷額や販売額が伸び悩んでいることから、既存企業の情報収集を行いニーズに合った支援策とSNSを活用した企業支援制度等の情報発信に努めます。</p> <p>-----</p> <p><b>【表現の変更なし】</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題認識はできている。</li> <li>・新しい発案行動できる仕組みを官民あげて行動を起こすよう新しいメンバー会議を発案する。</li> <li>・課題認識ができている中で、解決の優先順位をつけて課題解決を速やかに実行してほしい。</li> <li>・課題の把握、取組については妥当だが、相手があることなので、いかに結果を出すかが問われる。</li> <li>・求人職種と要求職種との不整合</li> <li>・商店街活性化の具体策は？</li> </ul> <p>《項目採点 3.0点満点中：平均2.1点》</p>
<p><b>翌年度(H31)の取組目標</b></p>	<p>新たな企業誘致の用地確保や、雇用対策として、外国人労働者の居住環境の充実施策を検討します。</p> <p>-----</p> <p><b>【表現の変更あり】</b></p> <p>新たな企業団地の造成を進めます。また、観光振興と連携した商店街の活性化を図るため、キャッシュレス化を関係団体等と協議します。また、雇用対策として、外国人労働者の居住環境の充実施策を検討します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(左記の取組目標に関して)強く推進する必要がある。</li> <li>・市民のニーズがないと思えたらPRして意識を高めよう。</li> <li>・企業誘致事業事務事業評価シート、企業用地造成事業特別会計 事務事業評価シートの中で企業誘致の推進が思いのほか進んでいないことで、本気で人事をつくし進めることの重要性和本気度を発揮することを切望する。</li> <li>・外国人労働者の居住環境の充実のあわせて、外国人観光客の受け入れ体制(キャッシュレス・宿泊施設など)も同時に検討してほしい。</li> <li>・市民全体のニーズをとらえるまでには至っていないが、市民ニーズとなるようPRをしてほしい。</li> <li>・重要度が低下している。</li> </ul> <p>《項目採点 3.0点満点中：平均2.0点》</p>
<p><b>【上記以外の内部評価への指摘事項・提言】</b></p>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・課長、係長全員での取組が伺えます。質問の中にも入れたとおり、この事業こそが備前市の将来を決めると思います。頑張りましょう。</li> <li>・企業立地、サテライトオフィスの誘致について、ニーズの把握の現状は？</li> <li>・備前市の団地の特徴とのマッチングは？</li> <li>・地域おこし協力隊の創業支援は？</li> <li>・事業者からの税収は？</li> </ul>		

【その他委員会当日出された意見等】

《有効求人倍率》

有効求人倍率が1.7と高水準であるが、ホワイトカラーの求人が少なく、若い人達の希望する就職先は少ないのではないかと？有効求人倍率という数字だけでは測りえない。また、外国人の労働者が増えているが、彼らが孤独化していると感じる。市民の一員として温かい雰囲気フォローしたい。

《企業誘致》

大手企業の進出につながるよう、企業誘致のPRは動画などを含めて今以上に積極的に進めてほしい。若者が地元に戻るためには、企業誘致は最優先課題だと思う。久々井の企業の増設のうわさがあるが、ぜひ地元協力のもと実現してほしい。

《商業振興》

商業振興は市役所だけの仕事ではなく、商工会議所や商工会などの団体の役割は大きいと思われるが、全体的に消極的なイメージがある。市からの補助金をもらっていることもあり、結果という意識を強く持ってもらう必要があるのではないかと。片上商店街も努力しているが、商工会議所などがもう少し積極的に取り組んでほしい。

《PR・イメージ》

元気な備前市のPRをお願いしたい。岡山アワードなどで取り上げられるような創業者が出てくることを期待する。

《地元商店街》

大型商店の進出は市民の希望でもあるが、地元商店街の衰退につながることもある。また、進出した大型店舗の撤退後は、何も残らず、深刻な空洞化を招くこととなる。商店街の活性化については、地域おこし協力隊や創業塾などに期待する部分が多いと感じた。大型商店とは違う品ぞろえが必要だと思うが、それ以上に地元の人が商店街をもっと利用する意識を高く持てるようにしなければならない。

※赤字は外部評価を受けての回答、対応

	内部評価	外部評価（3点満点）
施策評価シート のわかりやすさ		<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に問題なし。</li> <li>・良い。</li> <li>・実情は概ね理解されているようで正直なる表現を今後ともやってくださることを願う。</li> <li>・指標がどのように決まったのかなど、もっと情報がないと深く内容を見ることができない。良い取組ができていのかどうか判断できない。</li> <li>・平易で分かりやすいが、具体が見えてこない文章になっている。</li> <li>・記載文章はわかりやすいが、具体性に欠けているのではないか。</li> <li>・法定事務のシートは理解できませんでした。</li> </ul>
成果指標の妥当性	<p>【3 どちらともいえない】</p> <p>指標としている改修、対策箇所数は施策の主たる目的である、地域住民の安全安心、農業用水の確保を図る上で妥当である。</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>【評価：変更・修正なし】 【判断理由：表現の変更なし】</p>	<p>【A委員評価↓2 低い】</p> <p>ため池の廃止を考えていき、適正な管理ため池数を設定すればどうか。</p> <p>【B委員評価↑4 高い】</p> <p>【C委員評価→3 どちらともいえない】</p> <p>【D委員評価↓2 低い】</p> <p>目標設定の取組と対策は、他人まかせ的に行われている。最近のゲリラ豪雨等による被害が多く発生している中において、新たな対応策の検討・取組がなされていない。</p> <p>【E委員評価↓2 低い】</p> <p>成果指標、目標値、参考指標が、これだよいか疑問を感じる。目標値の変更についても明記していない。</p> <p>【F委員評価→3 どちらともいえない】</p> <p>危険ため池、山地箇所数は？</p> <p>【G委員評価→3 どちらともいえない】</p> <p>≪項目採点 3.0点満点中：平均1.4点≫</p>
事業構成の妥当性	<p>【3 どちらともいえない】</p> <p>施策の主たる目的である、地域住民の安全安心、農業用水の確保を図る上でため池の改修、山地危険箇所の対策は妥当であ</p>	<p>【A委員評価↓2 低い】</p> <p>廃止に関する事業は、必要ないか？</p> <p>【B委員評価↑4 高い】</p>

	<p>る。</p> <hr/> <p>【評 価：変更・修正なし】 【判断理由：表現の変更あり】</p> <p>施策の主たる目的である、地域住民の安全安心、農業用水の確保を図る上でため池の改修と対策、治山対策は妥当である。</p>	<p>【C委員評価→3 どちらともいえない】</p> <p>【D委員評価↓2 低い】 施策評価シートH27から施策成果指標が全く内容が変わっていない。さらに、文章内容まで同じである。</p> <p>【E委員評価→3 どちらともいえない】</p> <p>【F委員評価↓2 低い】 ・ハザードマップがなかったのか？ ・成果は何なのか？</p> <p>【G委員評価→3 どちらともいえない】</p> <p>≪項目採点 3.0点満点中：平均1.3点≫</p>
<p>施策の有効性</p>	<p>【3 どちらともいえない】</p> <p>ため池改修は農業者の経済的負担があるため調整に時間を要している。又、山地危険箇所対策については、県と協議しながら進めていく必要があるが、中長期目標の達成はできると見込んでいる。</p> <hr/> <p>【評 価：変更・修正なし】 【判断理由：表現の変更あり】</p> <p>ため池改修は受益者の経済的負担が必要であること、余水吐の切り下げは貯水量を減らすことへの理解が必要なため調整に時間を要している。又、治山対策については、岡山県と協議しながら進めていく必要があるが、中長期目標の達成はできると見込んでいる。</p>	<p>【A委員評価→3 どちらともいえない】</p> <p>【B委員評価↑4 高い】</p> <p>【C委員評価→3 どちらともいえない】</p> <p>【D委員評価↓2 低い】 施策の有効性と中・長期の達成見込み？に対する回答が不明確。また、今後は分析したうえで、更なる改善が必要とあるが、この施策評価シートが課題解決のためのシートではないのでは？</p> <p>【E委員評価→3 どちらともいえない】</p> <p>【F委員評価↓2 低い】 ・危険度の評価指標は？ ・県の役割、市の役割？</p> <p>【G委員評価↑4 高い】</p> <p>≪項目採点 3.0点満点中：平均1.6点≫</p>
<p>進行年度(H30)の取組内容</p>	<p>耐震診断により改修の必要性があるため池について、地元関係者と協議を行い、優先順位が高く施工可能なため池から県へ要望していきます。小規模なため池については、管理者への調査をはじめ、農業用水として必要以上貯水しないよう（水位をさげるよう）または、簡易な余水吐切り下げを依頼していきます。</p>	<p>・よく把握できていると思うが解決に向けての取組を強化してほしい。</p> <p>・県まかせでため池・治山について危機監理の点、まことに心配です。</p> <p>・進行年度の取組内容は、市民に対して内容が分かりづらいため、抱える課題やニーズは、どのような手法を用いて解決す</p>

	<p><b>【表現の変更あり】</b></p> <p>改修の必要があるため池については、地元関係者と協議を行い、受益者負担金の承諾を得られたため池については県へ要望していきます。受益者負担金の調整のつかない箇所については、余水吐の切下げをおこない水位を下げる協議をおこなっていきます。又、併せてハザードマップの作成をおこない地域への周知をおこないます。</p>	<p>るのか、また、どのような状況になれば廃止・終了するのが明確でない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画的に課題を解決していくのではなく、自然相手だったり県との関連が大きかったりして取組が見えにくい。</li> <li>・ため池の機能が変化している現在、受益者（農業従事者）負担でいいのか？</li> <li>・スピード感をもって（事業を）進めてほしい。</li> </ul> <p>《項目採点 3.0点満点中：平均1.4点》</p>
<p>翌年度(H31)の取組目標</p>	<p>H31年度も引続き、耐震診断やハザードマップの作成に努めます。耐震診断により改修の必要性があるため池について、地元関係者と協議を行い施工可能なため池から県へ要望していきます。小規模なため池についても引続きため池管理者に安全で適正な管理を協力依頼していきます。</p> <hr/> <p><b>【表現の変更あり】</b></p> <p>31年度も引き続き、改修の必要があるため池については、地元関係者と協議を行い、受益者負担金の承諾を得られたため池については県へ要望していきます。受益者負担金の調整のつかない箇所については、余水吐の切下げをおこない水位を下げる協議をおこなっていきます。又、併せてハザードマップの作成をおこない地域への周知をおこないます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題は把握できていると思われるが、ため池の適正数への取組や、治山に関する市民説明が必要ではないか。</li> </ul> <p>本市は山林率が80%とか、まさにいつ災害が山からか海からか、それとも地盤振動なのか心配ごとだらけです。『晴れの国・岡山』も実情に沿った対策が県市レベルで理解していると思われませんが、予算の点むずかしい立場であると市民も理解しなければと。しかし、安心、安全なる施策には不安がいっぱいです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施策の評価は通り一遍の表現で市民に対して説得力がない。ただの報告書に過ぎない。内容が乏しい。</li> </ul> <p>《項目採点 3.0点満点中：平均1.4点》</p>
<p><b>【上記以外の内部評価への指摘事項・提言】</b></p>		
<p>係長クラスの実務担当者の対応に感心します。少ない人数で頑張っておられる姿を見ると頭が下がります。これからもよろしくお願ひしたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・備前市地域防災計画において、備前市防災会議条例及び備前市災害対策本部条例はHPを見ると平成17年度の資料が表れる。近年多発するゲリラ豪雨被害への対策を含め、防水月間、がけ崩れ防災週間、土砂災害防止月間など、市民への理解と関心を深める取組と地域防災計画の見直しをするべきだと考えます。</li> </ul> <hr/> <p><b>【その他委員会当日出された意見等】</b></p> <p>《市内多数のため池》</p> <p>ため池345箇所と多数存在する中で、地域関係者の関心が薄い地域が多く、廃止、改修、存続の判断ができず苦慮している現実がある。</p>		

《ため池の耐震診断》

- ・ 防災重点ため池15箇所のうち、耐震診断によって大きな危険が潜んでいたため池はなかった。

《開発指導》

- ・ 通常の開発指導に加えて、ため池が関係するために特別な開発指導はしていないが、災害関連の工事、調査等の協力に関する同意は得るようにしている。

《ため池の改修》

- ・ 防災重点ため池の改修に関して、改修費用は、  
『防災』に関する工事…全額市費で工事  
『用水』利便性向上の工事…工事費のうちいくらか個人負担徴収して工事

《ハザードマップ》

- ・ 県が行う土砂災害防止法に基づく区域指定をしている等の周知はしている。耐震診断を行った重点ため池については、今後ハザードマップに情報を落とし込んで、市民に、身近に危険な箇所があるという認識を持ってもらえるよう周知していく予定。

《施策評価シートの修正》

下記のとおり、参考指標について修正する。

【修正前】

⑥ 施策成果指標（基本目標・基本施策・施策意図から設定）

施策に対する成果指標名		単位	過年度実績		評価年度	成果指標の計算式の説明 ベンチマークの説明	目標値		
			H27	H28	H29				
成果指標	危険ため池改修数	目標	箇所	1.0	3.0	1.0	平成24年度をゼロとして10年後10箇所を目標に改修する。(目標値は累積数)		
		実績	箇所	1.0	0.0	0.0		H32	1
		達成率	%	100.0	0.0	0.0		H34	3
		ベンチマーク						—	—
参考指標①	山地危険箇所対策数	目標	箇所	1.0	5.0	1.0	平成24年度をゼロとして10年後10箇所を目標に改修する。(目標値は累積数)		
		実績	箇所	1.0	0.0	0.0		H32	4
		達成率	%	100.0	0.0	0.0		H34	6
		ベンチマーク						—	—
参考指標②		目標							
		実績					H32		
		達成率	%				H34		
		ベンチマーク					—	—	



【修正後】・・・黄色セル部分を修正

⑥ 施策成果指標（基本目標・基本施策・施策意図から設定）

施策に対する成果指標名		単位	過年度実績		評価年度	成果指標の計算式の説明 ベンチマークの説明	目標値		
			H27	H28	H29				
成果指標	ため池改修数	目標	箇所	1.0	3.0	1.0	平成28年度をゼロとして6年後3箇所を目標に改修する。(目標値は累積数)		
		実績	箇所	1.0	0.0	0.0		H32	1
		達成率	%	100.0	0.0	0.0		H34	2
		ベンチマーク						—	—
参考指標①	治山対策箇所数	目標	箇所	1.0	5.0	1.0	平成28年度をゼロとして6年後2箇所を目標に対策する。(目標値は累積数)		
		実績	箇所	1.0	0.0	0.0		H32	1
		達成率	%	100.0	0.0	0.0		H34	2
		ベンチマーク						—	—
参考指標②	ため池対策数（余水吐切下）	目標	箇所			3.0	平成28年度をゼロとして6年後8箇所を目標に対策する。(目標値は累積数)		
		実績	箇所			0.0		H32	6
		達成率	%			0.0		H34	8
		ベンチマーク						—	—
参考指標③		目標							
		実績					H32		
		達成率	%				H34		
		ベンチマーク					—	—	

#### 4 振り返り

市民委員会最終日、全4回開催してきた委員会全体を通じての感想、意見等を募った。

草加) 第2回から第4回にかけて、だんだん自分の得意分野に近づいてくるようなテーマ配分で、会を重ねるごとに盛り上がってきたが、自分の年を意識すると、これからは後進に譲らなければと思った。

船橋) 今年度のテーマは非常に難しかった。最初はどうしてもよいかなと思っていても、いざ委員会で内容を聞くと、施策、事業の大切さが分かった。今回は私自身の反省と勉強させてもらったという思いが強く残った。

原田) 私は地区の役員をしており、市の職員は大変頑張ってくれていることを実感している。しかしながらその内容が市民に伝わっていないのが残念。もっとPRしていくべき。

谷原) シートの作成担当者によって、シート作成の熱意が違うことを感じた。

近藤) 今年度は、事前質問が一度も出せなかったことと、評価にしても勉強不足に起因する通り一遍のコメントしかできなかったのが反省点。

佐藤) 事前に読み込むことができず、事前質問もできなかった。事業についてのPRをもっとしていくべき。

世羅) 今年度の評価にあたった担当者、課長に関して、プレゼンが苦手な方が多いと感じた。